

弘前大学学報



弘前市文京町 多目的広場

第 22 号
平成18年1月号

学内ニュース

○平成18年学長年頭挨拶	学長 遠藤正彦	-----	1
○平成18年度大学入試センター試験実施		-----	3
○理工学部と八戸高専，相互履修で協定締結		-----	4
○第5回弘前大学と八戸高専とのシーズ提案会開催		-----	5
○弘前大学知的財産セミナー（医学編）開催		-----	6

学 事

○外国出張		-----	7
-------	--	-------	---

諸 会 議

		-----	8
--	--	-------	---

人 事

○新任教授紹介		-----	11
○人事異動		-----	11

主要日誌

		-----	12
--	--	-------	----

学内規則

○弘前大学大学院奨学金返還免除候補者選考委員会規程		-----	12
○国立大学法人弘前大学災害対策規程			
○国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正			
○国立大学法人弘前大学職員就業規則の一部改正			
○弘前大学医学部教授会規程の一部改正			
○弘前大学医学部附属病院規程の一部改正			
○弘前大学医学部附属病院長候補者選考規程の一部改正			
○国立大学法人弘前大学職員の区分，種類及び職名に関する細則の一部改正			

計 報

		-----	13
--	--	-------	----

平成18年 学長年頭挨拶

弘前大学長 遠藤 正彦



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。年末には例年になく天候が全国的に大荒れで、津軽地方にも大雪が降りましたが、正月三が日は穏やかに迎えることが出来ました。皆さんもそれぞれ御家族と共に穏やかな新年を迎えることができたことと存じます。しかし、今日はまた大雪となりました。

さて、年頭に当たり、学長としての所信を述べたいと思いますが、その前に現学長の任期と再任について一言述べさせていただきます。現学長としての任期は本年1月31日までであります。その後の学長

候補者につきましては学長選考会議において、次期学長候補者として再び私、遠藤が選ばれました。国立大学法人が現学長の時に発足し途についたばかりなので、第1期中期目標・中期計画の完遂まで最大限の努力をし、責任を果たしたいとの考えから、お引き受けすることに致しました。どうぞよろしくお願ひ致します。既に文部科学大臣に申出の手続きがとられております。従いまして、現時点で2月1日以降のことについては、学長就任予定者として事に当たり、これから申し上げる平成18年の年頭所信についても、その立場で申し上げますので、御了承いただきたいと思ひます。

さて、平成18年当初の最重要事項は、平成17年度の実績報告書と財務諸表の作成、また平成18年度の年度計画の作成であります。平成17年度は厳しい財政状況の中にあっても、本学教職員の努力と協力によって、まずまずの成果を挙げられたと、少なくとも実績報告書に記載することが出来ると思ひております。御協力、御尽力いただきました教職員の皆さんに御礼を申し上げます。尚、本年は大学評価学位授与機構による認証評価を受ける年になっておりますことも重要であります。

ところで、中期目標・中期計画の第1期終了1年前、即ちこれから3年後に、中期目標・中期計画の暫定評価が実施されると伝えられております。その暫定評価において、本学がマイナスの評価を受け、その結果の資源の配分において、本学が学部学科の縮小、教職員・学生の定員削減、運営費交付金の減額等を迫られることのないように、今から十分な対応を図ることが必要と思ひます。

そのため、中期目標・中期計画の完遂を早めることとし、そのため本年度の最大の目標は、年度計画をより厳しく実施していくことにあります。従いまして、本年は中期計画の完全実施に向けて、構成員の皆さんには、より厳しいことをお願ひすることになりますので、御協力を御願ひいたします。

次に、平成18年度の年度計画の作成に当たり、本学をとりまく状況を見ると、本年は前年度よりも一層厳しさが増すと見られます。以下、本学の主な重要課題とその対応について述べることにします。

第一の重要課題は、財政に関わる管理運営の件です。人事院勧告による国家公務員の給与改定、国家公務員定員の5年間5%削減、そして運営費交付金に係る効率化係数、附属病院の経営改善係数等から、平成18年度の本学の財政は、一段と厳しさを増すことは必定であります。

これには、業務の効率化と経費の節減、そして教職員の適性配置に努めなければなりません。これは本学の存亡をかけた重要課題でありますので、全構成員の理解と協力をお願ひ致します。

第二の重要課題は、少子化による入学志願者の減少、すなわち大学全入時代への突入の問題であります。これは、大学進学率が低く、しかも大学進学者の多くが県外に流出しているこの地域を、存立の基盤としている本学にとりましては、極めて深刻な問題であります。もし仮にひとたび入学者の定員割れを生じることがあるとすれば、その後は入学志願者の激減、学生の学力低下、大学全体の評価の低下等々、弘前大学のマイナスのスパイラルが始まることとなります。

この問題への対処は、「本学の魅力を高める」という一語に尽きますが、それには本学の目標である教育・研究・社会貢献の中の、特に教育を際立たせることにあると思います。私は、「本学は学生の質を保障する」と社会に約束しました。学生の質の高さは、就職などの結果で社会が認めることでありますが、そのことは受験生や保護者からは魅力ある大学と映るでしょう。その意味で、本年から本学学生の質の高さを、より一層確かなものにするための具体的施策を示し、実行することとします。その例として教育内容の充実は勿論であります。その他に、入学者選抜試験の志願者倍率の低下の阻止、就職率の向上、国家試験・国家公務員試験の合格者の増加等々、数値目標をかかげられることや資格認定に関するものについて、徹底的に関わってまいりたいと思っております。

大学の魅力という点からの研究に関しまして、世界に通じる研究も延びてきているので、産学官連携事業との協同步調をとることによって、本学の研究はこれから十分に光を放つことになるだろうとの見通しを持っています。こうしたことの積み重ねによって「本学の魅力を高める」ことを実現させたいと思っております。

第三の重要課題は、本学と地域との関わりの問題です。地域経済の低迷及び地域の過疎化は、残念ながらその暗いイメージがそこに存立する大学に反映されております。それは外部資金導入の低迷や附属病院の経営の困難さにその現実を見ることが出来ます。一方、大学のあり方は地域の経済・文化・教育・医療等にも影響を与えます。本学の収入約300億円の大部分は地域外からのものであり、そのほとんどをこの地で消費支出していることを考えると、地域経済への本学の影響も計りしれません。

弘前大学の存立するこの地域を住み良い街、住みたくなる街にすることは、入学志願者の増、教職員の流出防止及び人材確保、そして弘前大学の魅力に通じることであります。従って、今年から本学は地域に今までよりも一層積極的に関わってまいります。皆さんにアイデアを求め、そして御協力を御願い致します。

以上、申し述べたことその他、本学のあり方については、時間の都合で詳細を述べることは出来ませんが、改めて様々な機会を捉えて、皆さんのご意見を伺いながら具体化を進めてまいりたいと思っております。

弘前大学にとりましては、平成18年度はかなり厳しいものがあります。しかし、幸い本年の新しい事業として、大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程の設置申請、教育学部臨床心理士養成の認定、理工学部・農学生命科学部のJABEE認定、その他の希望の持てる多数の動きがあります。また、本年9月、教育学部創立130周年記念式典の挙行が予定されております。そして、昨年末から本学正門脇に、人文学部学生 目黒 萌絵さんがトリノオリンピックのカーリング種目に日本代表選手として参加するので、それを応援するというを示す垂れ幕が下がっております。教職員・学生の中からオリンピック選手を出すというのは、本学として初めてのことであります。こうしてみると、今年は大変厳しい中にも明るい希望の持てることが沢山あります。

最後に、この1年が大変厳しいながらも希望の持てる年であることを共通認識として、弘前大学が北東北の中規模総合大学として確実な発展をするために、教職員・学生の皆さんの御協力をお願いして、年頭の挨拶とします。

平成18年 1 月 4 日

平成18年度大学入試センター試験実施

平成18年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月21日（土）、22日（日）の2日間にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森大学田名部高等学校会場、青森中央学院大学、八戸大学、八戸工業大学及び北里大学獣医畜産学部の9試験場で実施されました。

この後、本学の個別学力検査は、前期日程試験が2月25日（土）、26日（日）（合格発表は3月8日（水））、後期日程試験が3月12日（日）（合格発表は3月22日（水））に実施されます。

なお、本学が担当した大学入試センター試験の志願者及び受験者は、次のとおりです。

試験場		弘 前 大 学			計
		(教育学部担当)	(医学部担当)	(農学生命科学部担当)	(受験率)
志願者数		人 297	人 835	人 264	人 1,396
1月 21日 (土)	公 民	224	692	215	1,131 (81.0%)
	地理歴史	207	614	174	995 (71.3%)
	国 語	271	773	242	1,286 (92.1%)
	外国語 (筆記)	273	776	248	1,297 (92.9%)
	英 語 リスニング*	271	773	245	1,289 (92.3%)
1月 22日 (日)	理 科 ①	182	496	153	831 (59.5%)
	数 学 ①	262	739	227	1,228 (88.0%)
	数 学 ②	237	675	207	1,119 (80.2%)
	理 科 ②	171	493	160	824 (59.0%)
	理 科 ③	89	260	93	442 (31.7%)

理工学部と八戸高専，相互履修で協定締結

弘前大学理工学部と八戸工業高等専門学校は、2006年度から実施する相互履修に関する協定を、1月27日（金）に締結しました。

弘前大学理工学部で行われた協定締結式では、南條弘前大学理工学部長，柳沢八戸工業高等専門学校長の両氏が協定書にサインしました。

この協定が締結されたことにより、理工学部2年以上の学生と八戸高専の5年生及び専攻科学生が、それぞれの講義を履修し、単位を取得することができることになりました。今後は、理工学部と八戸高専との連携を強化し、教員同士の交流を深め、共同研究などを通して地域の企業に働き掛け、産学官連携にも力を入れることとしています。



協定書調印式



協定書に調印後握手する南條理工学部（左）と
柳沢八戸工業高等専門学校長（右）

第5回弘前大学と八戸高専とのシーズ提案会開催

1月27日、「第5回弘前大学と八戸高専とのシーズ提案会」を創立50周年記念会館みちのくホールで開催しました。

このシーズ提案会は、弘前大学及び八戸工業高等専門学校における、産学連携事業の一環として、研究者の研究シーズを地域企業の方々に紹介し、産学官連携を深める契機とするとともに多様な研究協力の基盤となることを目的に開催しているもので、今年度は弘前大学を会場に行われました。

第5回目となる今回は両校関係者のほか、企業関係者ら100名を超える参加者があり、八戸高専から「摩耗粒子分析法による軸受の摩耗診断に関する研究」など4件の研究シーズが、弘前大学から「弘前大学と八戸高専の連携推進に向けてー地域におけるエネルギー問題への取り組みー」など3件の研究シーズが発表されたほか、弘前大学と共同研究を実施している南京大学の陳健教授から「超伝導デバイスによるテラヘルツ波分光検出」と題した講演が行われ、参加者らは熱心に耳を傾けていました。

また、シーズ提案会終了後は関係者らで交流会が開催され、今後の産学連携の進め方等について活発な意見交換がされ一層の交流が深められました。



挨拶する遠藤学長



八戸高専のシーズ提案の様子

弘前大学知的財産セミナー（医学編）開催

1月19日、「弘前大学知的財産セミナー（医学編）」を医学部臨床小講義室で開催しました。

このセミナーは、大学の知を知的財産の形で広く社会に還元するという新たな社会貢献への活動をさらに内容のあるものにするために知的財産創出本部が開催しているもので、今回は医学編と題して医学系教員を対象として開催し、約50余名の参加がありました。

セミナーでは、中澤知財本部長による挨拶の後、札幌医科大学客員教授の佐々木信夫知的財産管理アドバイザーから『科学技術のブランド化と特許—ある再生医療技術の実用化を例に—』と題して、札幌医大における知財活動の進め方や再生医療技術を例に、知的財産戦略を含めた具体的な活動等について講演があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



挨拶する中澤知財本部長



講演する佐々木札幌医科大学客員教授

外国出張

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
教授 (理工)	吉澤 篤	「オプトエレクトロニックデバイスに関する国際シンポジウム」にて、新規 U 型結晶に関する研究発表	アメリカ合衆国	18. 1. 6) 18. 1. 15
教授 (農生)	石川 隆二	イネ遺伝資源調査 (科研・基盤 B)	タイ王国, ラオス 人民民主共和国 カンボジア王国	18. 1. 20) 18. 1. 25
教授 (農生)	石川 隆二	イネ遺伝資源調査 (科研・基盤 A(2))	タイ王国 インド共和国	18. 1. 16) 18. 1. 22

■ 諸 会 議

▼役員会

1月16日（月）

審議事項

- 1 「中期計画の変更」の経営協議会への付議について
- 2 「平成18年度国立大学法人弘前大学予算配分方針」の経営協議会への付議について
- 3 「平成16事業年度利益の処分」の経営協議会への付議について
- 4 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 5 その他
(1) 平成17年度内部監査の監査結果への対応について

報告事項

- 1 一般職俸給表（一）の適用を受ける職員で、特殊の技術、経験等を必要とする職に採用する場合の職務の級及び俸給月額の方法等の取扱いについて
- 2 その他

1月23日（火）

審議事項

- 1 「中期計画の変更」の承認について
- 2 「平成18年度国立大学法人弘前大学予算配分方針」の承認について
- 3 平成16事業年度利益の処分」の承認について
- 4 学内諸規則の一部改正について
(1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
(2) 国立大学法人弘前大学会計規則の一部改正
(3) 国立大学法人弘前大学施設環境規則の一部改正
- 5 職員の再任用について
- 6 その他

報告事項

- 1 「環境報告書」の作成について
- 2 知的財産管理シンポジウム2006「知の創造拠点に向けて－大学における知的財産戦略」について
- 3 新理事について
- 4 その他

1月30日（月）

審議事項

- 1 「学内諸規則等の一部改正」の教育研究評議会への付議について
(1) 弘前大学学則の一部改正
(2) 弘前大学における講座に関する規程の一部改正
(3) 弘前大学21世紀教育履修規程の一部改正
(4) 弘前大学医学部規程の一部改正
(5) 弘前大学工学部規程の一部改正
(6) 弘前大学大学院人文社会科学部研究科規程の一部改正
- 2 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 3 その他

▼教育研究評議会

1月10日（火）

報告事項

- 1 教員の懲戒について
- 2 教員人事について
 - (1) 教員の採用
- 3 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 4 平成18年度予算内示について
- 5 平成17・18年度国立大学法人弘前大学施設整備予定事業について
- 6 平成18年度総合文化祭の実施日及び休講措置について
- 7 機器分析センター機器の外部開放について
- 8 青森県高等教育機関図書館協議会研修会について
- 9 国立大学附属図書館の課題に関する館長懇談会について
- 10 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 入学試験委員会

▼経営協議会

1月17日（火）

審議事項

- 1 中期計画の変更について
- 2 平成18年度国立大学法人弘前大学予算配分方針について
- 3 平成16事業年度利益の処分について
- 4 その他

報告事項

- 1 (社)国立大学協会会員代表者・事務担当責任者による連絡会について
- 2 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 3 平成18年度予算内示について
- 4 平成17事業年度中間決算について
- 5 平成17年度内部監査の結果について
- 6 その他

▼学長選考会議

1月17日（火）

議 題

- 1 学長候補者選考規程の見直しについて

▼教育・学生委員会

1月25日（水）

議 題

- 1 学生による授業評価アンケート実施結果の検証について
- 2 弘前大学における「弘前学院大学との単位互換」の単位認定に関する規程の一部改正について
- 3 学生表彰の選考について
- 4 その他

報告事項

- 1 学生担任制度の実施状況調査について
- 2 「弓道部」弘前市スポーツ賞受賞について
- 3 「学生ボランティア活動支援・促進のための連絡協議の集い」報告会について
- 4 弘前大学周辺町内会長との懇談会について

-
- 5 入学者選抜方法調査研究報告書の作成について
 - 6 その他

▼研究・施設マネジメント委員会

1月11日（水）

議 題

- 1 キャンパスマスタープランについて
- 2 その他

報告事項

- 1 アスベストを含有する部屋等の石綿粉塵濃度測定結果について
- 2 大学構内における自転車について
- 3 弘前大学共用スペース利用募集について
- 4 平成17, 18年度予算内示について
- 5 その他

▼社会連携委員会

1月30日（月）

議題

- 1 弘前大学社会連携ポリシーについて
- 2 平成18年度年度計画について
- 3 その他

報告

- 1 2006年度弘前大学シニアサマーカレッジについて
- 2 弘前大学サテライトネットワークパンフレットについて
- 3 その他

▼21世紀教育センター運営委員会

1月26日（木）

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 教育・学生委員会報告
- 4 科目主任報告
- 5 その他の報告

審議事項

- 1 弘前大学21世紀教育履修規程の一部改正について
- 2 弘前大学における外国人留学生の21世紀教育科目履修の特例に関する規程の一部改正について
- 3 弘前大学21世紀教育科目における「大学以外の教育施設等における学習」の単位認定に関する規程の一部改正について
- 4 弘前学院大学との単位互換に係る読み替えについて
- 5 平成18年度学外非常勤講師資格審査について
- 6 平成18年度非常勤講師による授業計画について
- 7 平成18年度ティーチング・アシスタントによる授業計画について
- 8 平成18年度履修マニュアルについて
- 9 平成18年度21世紀教育の運営等に係る経費について
- 10 その他

新任教授紹介



医学部
ショウジ
東海林 幹夫 (専攻:臨床神経学)

東海林岡山大学大学院医歯薬学総合研究科研究科助教授が、平成18年1月1日付けで、本学医学部教授に発令されました。



医学部
イトウ ケン
伊東 健 (専攻:分子生物学)

伊東筑波大学大学院人間総合科学研究科講師が、平成18年1月16日付けで、本学医学部教授に発令されました。

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 1. 1		小 杉 基 樹	課長補佐(術・社)
18. 1. 1		工 藤 重 光	社会連携グループ係長(術・社)
18. 1. 1		東海林 幹 夫	教授(医・脳神経血管病態研究施設)
18. 1. 1		田 中 和 明	助教授(農生)
18. 1. 16		伊 東 健	教授(医・高度先進医学研究センター)

[併任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 1. 1	教授(医・脳神経血管病態研究施設)	東海林 幹 夫	医学部附属病院神経内科科長

[併任解除]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 1. 1	教授(医)	須 田 俊 宏	医学部附属病院神経内科科長

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 1. 7	助手(医・脳神経血管病態研究施設)	丹 治 邦 和	研究休職より

[退職・離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
18. 1. 31	助教授(医学)	西 川 真 史	退職
18. 1. 31	講師(医・保)	大 西 香 代 子	退職

■ 主要日誌

- 1月4日 仕事始め
新年互礼会
医学部・附属病院新年互礼会
理工学部新年互礼会
- 5日 栄養教諭育成講習（教育学部）
- 6日 栄養教諭育成講習（教育学部）
平成17年度青森県小・中学校長会・教育学部連絡会議（ウェディングプラザアラスカ）
退職準備説明会
学長オフィスアワー
21世紀教育点検・評価専門委員会
- 10日 第188回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会（岩手大学）
運営会議
教育研究評議会
- 11日 学長定例記者会見
大学入試センター試験実施本部説明会，事務担当者説明会，監督者説明会
- 13日 青森県教育庁・教育学部連絡協議会（ウェディングプラザアラスカ）
- 16日 役員会
地域社会研究科（一般選抜）願書受付（～1/20）
- 17日 学長選考会議
経営協議会
経営協議会及び教育研究評議会合同会議
- 18日 公務員採用ガイダンス
- 19日 学長オフィスアワー
- 21日 大学入試センター試験
- 22日 大学入試センター試験
- 23日 平成17年度国立大学附属病院長会議「東北・北海道地区会議」（ホテルメトロポリタン，東北大学）
役員会
21世紀教育FD・広報専門委員会
理工学研究科博士後期課程（2次募集）出願受付（～1/27）
- 24日 21世紀教育教務専門委員会
- 25日 教育学部長候補者選挙
教育・学生委員会
農学生命科学研究科博士前期課程（2次募集）入学試験
理工学研究科博士後期課程（2次募集）入学試験
- 26日 平成17年度大学病院情報マネジメント部門連絡会（～27日 浜松市：オークラアクティホテル）
21世紀教育センター運営委員会
理工学研究科博士後期課程（2次募集）入学試験
- 27日 経営戦略会議（附属病院）
- 30日 役員会
個別学力検査願書受付（～2/7）
- 31日 平成17年度国立大学附属病院長会議臨時総会（国立刈苅ビック記念青少年総合センター）
平成17年度国立大学医学部長，歯学部長及び病院長会議（国立刈苅ビック記念青少年総合センター）

■ 学内規則

(平成17年12月7日制定)

○ 弘前大学大学院奨学金返還免除候補者選考委員会規程

(平成17年12月19日制定)

○ 国立大学法人弘前大学災害対策規程

(平成17年12月27日改正・平成18年4月1日施行)

○ 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正

附属病院長を専任とするとともに、その任命手続きを改めるため、この規則の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学職員就業規則の一部改正

附属病院長の専任制実施に伴い、附属病院長を任期付職員とし、定年退職の適用除外とするため、この規則の一部を改正した。

○ 弘前大学医学部教授会規程の一部改正

教授会の審議事項に「附属病院長の選考に関する事項」を追加するため、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正

以下の理由によりこの規程の一部を改正した。

①附属病院長の専任制を実施するため。

②附属病院の各診療科及び中央診療施設等の診療担当者の整合性を図り、条文の整備及び字句を修正するため。

○ 弘前大学医学部附属病院長候補者選考規程の一部改正

病院長候補者の資格並びに選考の機関及び病院長の任期等を改めるため、この規程の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学職員の区分、種類及び職名に関する細則の一部改正

附属病院長の専任制実施に伴い、この細則の一部を改正した。

■ 訃 報

本学医療技術短期大学部名誉教授 鈴木喜八郎氏には、平成18年1月27日午前6時00分御逝去されました。

享年 72歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第22号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172)36-2111